

予算科目比較表

議会費	36,012
総務費	235,859
民生費	46,770
衛生費	66,657
農林水産費	521,077
土木費	57,398
教育費負担金	120,000
公債	28,587
その他	12,804

編し・う後記

今回おくれればせながら「広報おんな」を発行することになりました。皆様と共によるこびにたえません。これを機会に役所仕事も増一増明るい窓口にし皆様へのサービスを充分致す所存であります。若し改善したいことや要望がありましたら、庶務課へご一報下されば幸いです。

なお、部落でのできごとや広く一般にお知らせしたい記事等もご寄稿下さいますようお願いいたします(係)

第1号
報六
おんな

1971年7月
現在調 1591
世帯 口 3845
人男 4078
女計 4923

村広報発刊に際して

恩納村長 当山幸徳

この度村公報恩納(おんな)を創刊することに致しました。

これまで村広報活動としては、村勢要覧があり、十年前には、有線放送によるラザオ放送がありました。又各部落の行政懇談会や毎月の区長定例常会等を通じて、間接的の伝達話し合い等もやってきました。更に一九六七年二月を第一号として刊行した財政公表が年二回あてだされ現在第九号まで続けられております。

然し目まぐるしく進展しつつあるきのり、きよりの世の中でありま

村民各位は、これを御覧なられて

随時村の状況が分りになられます。更には御要望、御意見等が反映されることと推量致します。即ち村一広報(村民)公聴(情報の収集や広報効果の反応)一行政運営並びに政策の中にながり、フルに活かされていくことが大切でありましよう。つまり自治体と住民を結ぶパイプの役目を果たす行政活動の一分野であります。

村広報発刊について

恩納村議会議長 古波蔵 清一

今回村広報第一号企画発刊に当り村民の皆様と共に喜びにたえません。日本復帰も決定調印され一九七二年待望の復帰前年に当り村広報が企画発行された事はおくれればせながら時宜を得たものと思っております。先進市町村におきましては既に当然の事として発行され、又地域住民と致しましては村の政治、経済、文化のあり方を知ることにより当局への信頼と協力が出来るといわれております。

来本土復帰の年を迎え、いよいよ多事多忙の時期になりました。村民各位のより多くの事項の周知徹底の必要を感じております。

村広報として遅ればせながら創刊誕生したばかりのホヤホヤであります。十全でないことを御諒解いただき勉強して下さい。これから村民みなで育てていくという心掛けて御指導、ごべんたつご協力をお願いして発刊のごあいさつと致します。

今日まで恩納村におきまして広報を意味づけるものとしては区長会における村当局の諸般の報告と村議会議員による議会報告(選出区域において)を行なうて来たに過ぎず又村当局による部落懇談会も一、二回行なわれたことがある位であります。

一九六三年村広報活動を活発に行うとの趣旨のもとに有線放送事業を是

非設置したいとの事で村当局より議
 会に提出され、議会で致しましても
 あるる角度から審議検討致しまし
 て、広報活動の重要性を考慮致しま
 して広報活動如何によって村民の協
 力と村民福祉の向上が達成されると
 の結論を得まして有線放送事業設置
 に協力致してきましたが、その後一
 度も広報らしい広報がなされず、議
 会と致しましては、村当局の無計画
 で広報が不発に終わった事を再三に渉
 り追求した事も昨今の様を思いが致
 すのであります。日本復帰を前に様
 々の諸問題があり報導されている復
 帰不安も否定出来ない今日村当局並
 びに議会と致しましても復帰不安に
 対する解消策を提起し、村民の復帰
 不安を幾分なりともやわらげる方法
 を策定し村広報を通じて安心して復
 帰が出来る心構えを造って行かねば
 ならないと思ひます。

報する事が先決かと思ひます。
 村予算の作成も一九七二年会計年度
 より本土法に準じて構成され既に実
 施されておりますので一九七二年度
 の予算説明等村民の皆様様に詳細に報
 らす事が必致であります。
 地方財政は地方自治に関する諸制度
 の分野の中でも最も理解しにくいも
 のの一つであるといわれております
 各市町村の予算を見ても自己財源は
 ほとんど三割程度であることから地
 方自治は三割自治だといふ表言が生
 まれている事からしても伺ひ知る事
 が出来ると思ひます。多岐多様にわ
 たる地方行政の中で、社会経済の発
 展に伴ひ村民の福祉を増大する事は
 誠に結構なことであります。その
 の半面村民にとっては行政全体はわ
 かりにくい存在であります。よつて
 広報の必要性を痛感するのでありま
 す。議会と致しましてはたえず効率
 的施行が出来る事を基と致しまして
 審議検討の上議決を致しました諸問
 題や村予算が有効適切に施行されて

いるかどうかを監査させております
 監査に当っては議会から監査委員一人
 監査立会人二人村内の学識経験者お
 一人計四名の委員が適切な監査を行
 っております。
 村広報発行を機関会に広報の本旨を
 最大に活用して村内の諸問題の大小
 にかかわらず報導する事により村民
 と致しまして、政治、実経済、文
 化その他あらゆる面の時世の移り変
 りを知り、又村当局や議会への希望
 提言等吸収することにより良き施政
 が生まれ明るい豊かな村作りが出来
 るものと思ひのであります。
 村民の皆様村広報発行に当り皆様の
 苦情や希望又、よりよき提言をお寄
 せ下さる事を切に願ひ申上げると
 共に村広報活動が活発に発行される
 事を期待し発展することを村民の皆
 様と共に祈念致し村広報企画第一号
 発行についての所感の一端と致しま
 す。

今年第二回恩納村定例会に、一九
 七二年度の予算案を提案するに当り
 施政に関する私の方針と所信を申し
 述べます。
 一 復帰への総仕上げ
 待望の日本復帰もいよいよ一九
 七二年四月一日を期して実現の可能
 性が決定的になりました。予想され
 る期日は本日から二百九十三日(六
 月十二日)後となり、この限られた又
 期間を最も有効適切に活用して、ス
 ムーズに本土復帰をしなければなら
 ません。制度面、法制面、経済面と
 色々の面が想定されるのであります
 制度においても国家事務、地方事
 務、司法制面では六百の法制制が必
 要であり、経済面においても、諸税
 物価等直接生活に影響するところの
 問題が多々おこることと思われま
 本土政府においては繰復帰第三次

施政方針

要項を作成中で経過、暫定、特別措置
 を構じて急激の変化をさける方策が構
 ぜられつつあります。琉球政府におい
 ても本土法に法改正が進められつつあ
 りますが、我れわれは早くその項目を
 次々と指示してその体制を整えたく強
 く要請をいたしております。
 私共も、村民の教育、文化、生活、
 経済面においても復帰後混乱が生じな
 いよう物心両面の心の準備、仕事の確
 保、開拓等を推進して不安なく喜んで
 復帰を迎え安心して本土に仲間入り
 できるより全力投球を致さねばなりま
 せん。最も多忙であり、貴重な時期で
 あります。幸いに管理職が本土自治体
 で研修され、その成果に基づいて復帰
 えの総仕上げに努力を傾注致す心構えで
 あります。

① 基盤整備の拡充
 産業開発や経済活動の根幹となる各
 種基盤整備の拡充が先行しなければな
 りません。然るに政府の財政硬直化に
 より、政府支出による新規事業は皆無
 である事から先決かと思ひます。
 前年度の繰越執行と農業構造改
 善の継続事業のみが指達され、乏
 しい村の自己財源による基盤整備
 しか拡充できない状況であります
 ② 第一次産業の振興
 ア 農業
 二年前から施行された喜瀬武原
 地内農業構造改善事業も最終年次
 で基盤整備と農業近代化施設がな
 されるのであります。すばらしい
 農業、パイロット地区ができ、楽し
 い豊かな農業経営の農家群象が具
 現されるでありますよう。
 生産状況については、優良種苗
 の育成を図り、病虫害防除を強化
 することにより従来の基幹作目の
 増収を図るべく努力を致します。
 と同時に特に野菜、特用作物、花
 キ類の生産奨励をなし、零細農家
 や荒無地解消に活を入れた。機
 械化導入による省力を致し、若年
 層の後継者育成を考慮致す所存で
 あります。
 イ 畜産業

牛の増殖については、従来の方法に
 よりおし進め、養豚については、雌
 豚の品種改良改善を図り品質の優良
 な普及を図るため助成し、なお、流
 通機構の改善を図るため、畜牛、養
 豚、養鶏組合の結成をさせ価格安定
 の指導を致しつつあります。
 ウ 水産業
 昨年村漁協の設立発足を今後恩納
 村沿岸の海の開拓の為に助成を致し
 たいのであります。ヒトエグサの栽
 培については村の試験は大成を納
 め、村漁協へ移譲し、大きな発展が
 約束されます。更らに漁港網と動力
 源のエンゼン取替を助成すること
 によって漁獲高の飛躍的發展が期待
 されその予算措置を致しました。
 エ 林業
 復帰記念事業推進のため本土政
 府より、特別交付金が支給され、管
 理小屋と土地拡張購入、道路整備等
 が議決され一段と苗管理が充実さ
 れることになりました。
 観光花キ類の苗木育成に将来の

自然公園の面からも今後の苗畑は六
 きな役割と比重を占めることになる
 でありましよう。又政府とタイアツ
 プして水源かん養林、風致林の造成
 に最大の努力を致します。
 ⑤ 観光事業の推進
 ア 企業の誘致
 村の立地的諸条件、企業としての
 観光事業の優位性、更らには復帰を
 目前にひかえての思惑からか、村内
 への企業計画者が踵を接することく
 盛況を極めている現況であります。
 然しながら、村の長期建設計画があ
 り、政府立海岸公園地域であつて種
 々の制約があつて規制されています
 そこで、公害のない企業と、自然景
 観を破壊しないことを第一条件にか
 けて誘致する方針であります。
 一度自然を失したたら再びもどら
 ないことを全村民が銘記すべきであ
 り、かくてわが村の自然が保護され
 復帰後固定公園としての指定を受
 けられるであらうと思ひます。
 イ 雇用の拡大

企業誘致する場合、原則として本社
の所在を恩納村に置くことを条件にし
ており、用人も村内居住者の優先採用
を約束づけております。かくして企業
誘致の目的にも合致し職場が開拓され
村民所得の増大が期してもたらされる
事と存じます。

村内の大企業、農協、漁協、個人企
業、各種組合をモウラした村観光協会
が設立されました。ついで、この観
光協会を育成して、今後の観光恩納村
の推進母体として大きく活躍をやらせ
たい所存であります。
更に、日本、沖縄の唯一稀少価値と
しての宝である村沿岸のサンゴ礁が、
無法者のオニヒトデに食害されており
ます。協会に協力させ、政府に対しこ
れらの絶滅退治を継続的に行なわせ、
なお、海洋博覧会開催については、近
隣市町村と提携し誘致に努力を致しま
す。

三 村民福祉の向上
1 村民の健康管理について

ア 村診療所の充実
本土政府の沖縄の復帰記念として
特別交付金が配分され、わが村は村
診療所の改築に決定され内部施設の
充実と相まって、村民の健康保持は
大きな前進を致すことになるのであ
りましょう。安心して生業に精励され
ることは御同慶にたえません。なお
老人、母子、児童等の福祉について
は、年次的に充実を図る所存であり
ます。

イ 水資源の確保強化
各字簡易水道の施設がなされてあ
りますが、老朽化して改善を要する
段階に至りました。
谷茶簡易水道の繰越施工と熱田簡
易水道の補強化並びに喜瀬武原簡易
水道の配管変更を計上してあります
今年度は異常の降雨過少のため約
半数の部落が水不足をかこつたので
あります。企業誘致、人口増加、衛
生的の給水の点からも上水道施設を
促進しなければなりません。
ウ その他の観環境整備

環境衛生整備として、繰越工事の
安富部落内排水路、山田部落内排
水路にして環境衛生を整備しゴミ処
理車も一年繰越されましたが実現で
きる見通しであります。又伝染病防
止のため煙霧消毒器等を購入し清潔
な環境づくりに処する所存でありま
す。

2 消防施設の充実
年々消防施設の強化に意を用いて
きましたが、今年度は施設可能な六部
落(名、瀬、太、富、前、宇)四十
一箇所に消火センを取付消防態勢の
強化をはかることに致しました。以
上、一九七二年度の重要施策の概要
を申し述べた次第であります。市町
村自治法の改正により、予算様式も
本土法適用により従来とは異なる様
式になりました。予算額も当初から
前年度最終額相当の九二五、一六〇
ドルと膨大な規模に見積られました
然しながら内容的にも政府支出金の
次年度繰越額がほとんど占め、約三
〇万ドルにして、実質規模は六〇万

ドル台となるわけでありませぬ。
歳入は伸びず、歳出は極めており盛
の需要があります。人口増と所得の
増大、村財政収入増を真剣に考慮す
る時点だと思われませぬ。

本予算の審議並びにその他議会の
協力をお願いし、施政方針の開陳を
終ります。

一九七二年度予算総額九二五・一六四
ドル
一九七二年度の恩納村予算額は六月定
例会議会の議決により六月三十日に成
立しました。

この予算の特徴的なことは農業基本
施設に重点をいたことです。
以下予算の概要を説明します。

歳入
村民税一人当り

この財源で最も重要で、しかも村民
の皆さんにとって、一番関心が高いの
は村税であります。今年度は、三五・
二八ドルを見込んでおります。
これは前年度当初より六・五四ドル
増加であります。これは村民所得の増
加と税法改正による増額となっております。
又村税の一人当り四ドル四十四
セントは前年に比べると九十五セント
の増額になります。

歳出
基礎整備の拡充
恩納村には、農業基本施設の充実し
た地域がなく三年前から本土政府援助

によって字喜瀬武原に農業構造改善
事業が推進中で、今年度も二四六・
三九五ドルの費用を計上してありま
す。

又道路、橋梁の新築改良費に三五
・九六八ドルを計上致しました。
橋梁は名嘉真外一件で四・七百ド
ル、排水施設及び道路は山田外五件
で二八・六九八ドル、堤トウは南恩
納外一件で二・五百ドル、農道整備
は仲泊外一件で一六・九五〇ドルで
農業基礎整備を行ないます。

住民福祉
復帰記念事業として本土政府援助
による村診療所の改築と内部強化を
なし、住民の健康管理と安心した日
常生活ができるよう予算を計上致し
ました。
なお、児童福祉については、去年
の十月から保育所を開設し運営中
であります。

1972年度恩納村一般会計比較表

